

特集

広報

・小林町長と村山議長より  
〈年頭挨拶〉

なかとんべ  
No.757

2023 1 January



○「君の椅子」プロジェクト贈呈式の様子  
「君の椅子」プロジェクト署名式・贈呈式開催の詳細は、  
P4「まちの話題」をご覧ください。

小さな中頓別の  
しあわせをデザインする



# 新年あけましておめでとうございす



中頓別町長  
小林 生吉

新年あけましておめでとうございす。

新型コロナウイルス感染症が収まらないなかで迎える3度目の新年となりました。なかなか元通りとはなりません。町民の皆様とともに新年を迎えたことを慶び、希望を抱いて前に進んでいきたいと思ひます。

昨年は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など国際社会が大きく揺れた1年となりました。長引く新型コロナウイルス感染症で様々なダメージを受け

てきた経済社会、暮らしが一段と厳しさを増す結果となつていす。円安も加わり燃料、電気、物価が軒並み大幅な上昇が続いていす。国家安全保障に加え、

この間に露呈した日本の経済安全保障の脆弱性をいかに立て直していかも問われることになりました。社会保障制度もとても盤石とは言えませぬ。国民の負担も増え、国の財政運営が厳しくなれば、地方の財源にどのよう影響してくるかを見極めていくことも必要となつていす。

一方で、少子化や高齢社会への対応、地域で様々な課題を抱えて暮らす人々たちへのサポートなど地域社会が果たすべき役割も増え続けていす。

中頓別町は、厳しい自然と

共生しながらも、地域で生まれ育ち、ここで暮らししていく人を大切に、未来へとつながる豊かなふるさとを築く取り組みを進めてきました。子ども・子育て支援の充実、人生100年の学びを支える拠点整備と新しい学校づくり、地域医療提供体制と地域包括ケアの一体的な見直しを柱に地域住民が支え合い、助け合う様々な活動も生まれてきました。

昨年は、「小さな中頓別（まち）のしあわせをデザインする」をキャッチフレーズに第8期中頓別町総合計画が策定され、スタートしました。人生100年時代を迎え、人生の分岐点でひとりひとりがどんな選択をしていくのかを踏まえながら、分岐点ごとの基本課題に向き合うことに

なつていす。町の良いところを活かし、培つてきた経験や知恵を出し合い、「縮充」に向かい、参加や協働を基本に、対話を通じた学びやチャレンジを大切に持続可能なまちづくりを進めていくことが求められていす。町民のアイディアから生まれたプロジェクトも含め、町民と行政が連携して中頓別を元気に豊かにしていけたらと思ひます。

これからも国内外の厳しい状況に負けることなく、町にもっともつと明るい笑顔が広がっていけるよう、町政を進めていす。町民の皆様が健康で、心豊かに日々を過ごされるよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



中頓別町議会議長  
村山 義明

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

輝かしい令和5年の新春を町民の皆様と共に迎えられることを心よりお慶び申し上げます。

また、平素より町民の皆様から議会に寄せられますご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により、まん延防止のため各地で新型コロナウイルスワクチン接種が実施され、短期間で何回もワクチン接種をすることになり、住民の負担も大きかったと

思います。

また、医療関係者については、感染予防、集団接種など休む間もなく対応していただいたことに感謝申し上げます。

2月には、ロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり、多くの犠牲者が発生したにも関わらず未だに終息の目途が立たない状況となっています。さらに多くの犠牲者が出不いよう早期の解決を願うばかりです。

新型コロナウイルス感染症拡大及びロシア軍によるウクライナ侵攻により、世界情勢が混沌とするなか、日本経済にも大きな影響を与え、国民生活が脅かされている状況となっています。国の経済対策はもちろんです。道や町も一体となって住民を守らなければなりません。

4月に発生しました、知床半島

沖の観光船の沈没事故では、たくさん犠牲者が出ました。改めて自然の恐ろしさと物事を進めるための安全確認の必要性を再確認させられました。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げます。

7月には参院選があり、自民党が過半数となりました。その最中、安倍元首相の銃撃事件があり、日本でもこのような事件が起きるのかという思いでいました。このような事件が無くなる社会を切に願うばかりです。

本町におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大により多くの町民が感染しました。新型コロナウイルスを身近に感じたことで、医療環境が脆弱な本町では、町長をはじめ議員及び町民一人一人が感染防止に最大限努力し、

1日でも早い終息を願うとともに、平穏な生活を取り戻すことが必要だと思えます。

今後一層の高齢化が進み、人口減少対策に向けた地方創生の取り組みを推し進める最前線に議員一人一人が立ち、町長とともに町民の直接選挙で選ばれる議員の役割を果たしていかねばなりません。

町民の負託に応え、信頼される意思決定機関として、今後ともその使命を果たしていく所存です。町民の皆様には、これまで同様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年も皆様にとってより良い年でありますようご祈念申し上げます。年頭にあたってのご挨拶といたします。



## 生まれてくれてありがとう君の場所はここにあるからね 「君の椅子」プロジェクト署名式・贈呈式開催

11月28日に中頓別町保健センターで、「君の椅子」プロジェクト署名式・贈呈式が開催されました。

当日は、令和4年中に生まれた方、6組の親子が対象となりました。4組の親子が参加していました。道内では、「君の椅子」プロジェクトに参加している市町村は、中頓別町を含め13市町村あります。



贈呈式では、2022年デザインの「君の椅子」が贈られました。

デザインには、ヨーロッパの教会などで使われ続け、人々に安らぎをもたらして来た椅子が基になっていきます。また、世界の見知らぬ誰かが似た椅子を日々使っており、そのような場所や人々に思いを馳せることで、心が豊かになるようにという思いでデザインがされています。



## 薬物の怖さを知る 非行防止教室

12月1日に中頓別中学校で、非行防止教室が開催されました。

中頓別中学校の生徒21名が参加していました。講師には、枝幸警察署中頓別駐在所より、本間悠太巡査長が招かれており、薬物の乱用防止について、話されました。友達から煙草を勧められた際、どの様に断るのかなどを皆で考えていました。



## 掛け声に合わせて 防火もちつきの開催

12月6日、中頓別町立認定こども園で、防火もちつきが行われました。

当日は、南宗谷消防組合中頓別支署職員3人が訪れ、認定こども園児達40人が参加しました。合計8kgの紅白もちを園児達は、「ぺったん、ぺったん、火の用心」の掛け声に合わせて、楽しそうに行っていました。





## 瑞宝単光章(消防功労) 姉齒和男さんへ叙勲伝達式

12月6日に中頓別町役場で瑞宝単光章(消防功労)の叙勲伝達式が開催されました。

姉齒和男さんは、昭和41年、中頓別町消防団へ入団し、平成22年南宗谷消防組合中頓別消防分団長となっています。火災現場においては、永年の消防経験による豊富な知識と冷静な判断で多大な功績を挙げています。平成12年、豊平地区で発生した

火災現場では、副分団長として出動し、部下団員への的確な指示を行い、搾乳牛を守りました。

また、火災予防に関しては、「自分の地域は自分で守る」を合言葉とし、地域住民に対しても火災予防活動を推進してきました。分団長として、部下団員の指導育成にも厳正な規律のもと資質向上に努め、中頓別町の防災と消防団の発展に寄与しました。



## 特殊詐欺や交通事故に気を付けて 歳末防犯・交通安全講話の開催

12月9日に稚内信用金庫中頓別支店2階で、歳末防犯・交通安全講話が開催されました。

町内の金融機関職員など8名が参加していました。講師には、枝幸警察署刑事生活安全課 大貫 浩一警部、白尾 喬係長、枝幸警察署 中頓別駐在所 布村 博幸所長が講師として招かれ、北海道の詐欺被害の状況やオレオレ詐欺、架空請求詐欺などの

特殊詐欺の手口について話され、歳末に向けて注意喚起が行われました。また、交通事故についても死亡交通事故加害者を星座別に分析した資料を下に注意喚起がされました。1位はうお座であり、漫然運転が多かったみたいです。2位はやぎ座、3位はかに座でした。年末年始の移動などには、十分に気を付けましょう。

